

平成 29 年度  
事 業 報 告 書

公益社団法人新潟県社会福祉士会

公益法人会計上の区分	法 人
------------	-----

#### ◆平成29年度の活動評価

○各事業運営、各委員会活動については、公益法人としての責務を自覚するなか業務執行理事を中心として精力的に取り組み、概ね29年度計画どおり実施することができた。

○組織の基盤である会員については、59名（他県からの所属変更4名を含む）が入会したものの53名（他県への所属変更5名を含む）が退会し、6名の増加にとどまった。次年度は、これまで実施してきた取り組みに加え、新たな入会促進活動を実施し会員の拡大に努めたい。

○新潟県医療ソーシャルワーカー協会および新潟県精神保健福祉士協会とは、これまでソーシャルワーカーデーイベントの共催とソーシャルワーク関連ポスターの共同作成、長寿延伸フォーラムにおける共同ブースの設置等で協働してきたが、これから地域共生社会の実現にむけてより一層連携を強化・協働していくことが大切であるとの共通認識のもと、今年度は初めての取組として合同研修を実施した。これからも発展的な活動へつなげられるよう努めていきたい。

#### (1)事業・委員会の主となる活動

●各事業の実施

●会員管理 平成30年3月31日現在 正会員 1,172名（29年度の新入会員累計55名）、準会員 10名

#### (2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
会員総会	6月11日	燕三条地場産業振興センター
理事会	5月15日、6月11日、8月25日、11月17日 1月4日（書面）、2月23日	新潟ユニゾンプラザ 燕三条地場産業振興センター
内部役員会	4月28日（スカイプ）、5月15日、7月12日（スカイプ）、10月6日、2月6日（スカイプ）	会事務局
監査（28年度）	4月24日、5月8日	会事務局
関東甲信越ブロック社会福祉士会連絡協議会	①6月17日 ②2月17日	①鉄鋼会館（東京都中央区） ②新潟ユニゾンプラザ

#### (3)通年の基本活動

内容	実施状況
会員拡大に係る広報活動	ソーシャルワーカーデーイベント、各種研修等でのパンフレットの配布
会員の倫理および行動規範に係る活動	全体研修における講義（渡辺副会長）
会員の自主活動支援	登録先数 6グループ

(4)その他

内容	実施状況
社会福祉法人新潟県社会福祉協議会評議員	星井勝博会長を推薦
社会福祉法人新潟市社会福祉協議会評議員	丸山徑世理事を推薦
公益社団法人新潟県介護福祉士会理事	星井勝博会長を推薦
一般社団法人新潟県老人福祉施設協議会理事	渡辺陽一副会長を推薦
一般社団法人新潟県介護支援専門員協会理事	池内明会員を推薦
新潟県福祉サービス第三者評価推進委員会委員	松山茂樹会員を推薦
新潟県介護人材確保対策会議	対策会議に星井勝博会長を、資質向上・処遇改善部会に和田健治会員を推薦
新潟県いじめ防止対策等に関する委員会委員	武井恒美会員を推薦
上越市いじめ問題再調査委員会委員	武井恒美会員を推薦
佐渡市地域包括ケア会議委員	北見里奈会員を推薦
上越市地域包括支援センター運営協議会	片岡敏明会員を推薦
長岡市認知症施策推進委員会委員	遠藤真一理事を推薦
長岡市地域包括ケア推進協議会委員	小坂井佑介会員を推薦
新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会	代議員として星井勝博会長、幹事として立川和彦理事を推薦
介護福祉士等修学資金貸付審査等運営委員会委員	星井勝博会長を推薦
新潟県福祉サービス運営適正化委員会委員	相田岳人会員を推薦
新潟県福祉人材センター運営委員会委員	星井勝博会長を推薦
新潟県日常生活自立支援事業契約締結審査会	松山茂樹会員を推薦
新潟市日常生活自立支援事業契約締結審査会	松山茂樹会員を推薦
新潟市障がい程度区分認定等審査会委員	廣瀬哲也会員、市川宏昭会員、東海林織枝会員、清水佳愛会員、高橋保江会員、藤石義則会員を推薦
公益社団法人日本社会福祉士会 地域包括ケア推進委員会委員	高橋是司会員、佐藤正枝会員を推薦
公益社団法人日本社会福祉士会 生涯研修センター企画・運営委員会委員	高野八千代会員を推薦
上越市老人ホーム入所判定委員会委員	岩野幸子会員を推薦
新潟市日常生活自立支援事業関係機関連絡会議メンバー	和田健治会員を推薦
新潟市病院事業運営審議会委員	小山弓子理事を推薦

新潟県民医療推進協議会(健康寿命延伸にかかる多職種協働推進委員会)	10月22日に「健康寿命延伸フォーラム～しっかり食べて健康寿命！～」開催。当会・新潟県医療ソーシャルワーカー協会・新潟県精神保健福祉士協会で合同ブースを出展。ストレスチェックやうつ・認知症の自己診断チェックの実施、誤嚥性肺炎の予防啓発のパネル展示など。当日ブースへの来訪者16名。
ソーシャルワーク専門職3団体 意見交換会	今後の連携強化に向け、当会・新潟県医療ソーシャルワーカー協会・新潟県精神保健福祉士協会の役員による意見交換会を11月24日、12月12日、1月22日に実施。
新潟県自立支援協議会権利擁護部会委員	安藤清彦会員を推薦

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	成年後見・権利擁護事業(ばあとなあ研修等事業、成年後見人養成研修事業)
担当部署等	事業活動部(権利擁護センター「ばあとなあ新潟」)

#### ◆平成29年度の活動評価

平成29年度においては、従来の受任調整及び、会員の支援・フォローアップのための各研修を継続的に実施してきたところである。成年後見人の養成については、カリキュラムの変更により29年度から新たに成年後見人材育成研修と名簿登録研修に再編されたが、現在当会において受講要件を満たす者(生涯研修制度における基礎課程修了者)のほとんどが、すでに従来の成年後見人養成研修を修了しており、新カリキュラムでの研修実施のための受講者が確保できず29年度は開催を見送った。生涯研修センターが実施した基礎研修受講者アンケートの結果からは、一定以上の受講者数が確保できるのは31年度以降の見込みであり、成年後見人材育成研修は30年度は実施せず、31年度に実施予定とした。後見人等候補者の確保に向け、成年後見人養成研修修了者の中で未受任の会員に対し、いかに受任候補者として備えてもらえるようにするかを考えていく必要がある。

また、国の成年後見制度利用促進の基本計画の公布(平成30年3月)にともない、専門職後見人として受任することもさることながら、ソーシャルワーカーとして、成年後見制度を熟知した上で地域ネットワークの中で権利擁護を実現する役割が求められているというパラダイムチェンジの局面に際し、弁護士会・司法書士会・リーガルサポートと協働し、県や市町村と協議を始めたところである。今後も継続的に協議していく予定である。

#### (1)主たる活動

ばあとなあ会員登録者数	324名、うち名簿登録者252名(平成30年3月31日時点)
受任件数	685件(内訳:法定後見671件、任意後見14件)(平成30年1月31日時点)
平成29年度新規受任依頼受付	207件(30年3月31日時点。うち、推薦188件、断り5件、取下4件、調整中10件)

#### (2)通年の活動

活動内容(名称)	開催日	備考
業務監査委員会	4月24日	新潟ユニゾンプラザ
運営委員会(全体委員会)	5月21日、7月29日、2月3日	新潟ユニゾンプラザ
運営委員会(本部委員会)	4月8日、10月29日	事務局
日本社会福祉士会「ばあとなあ」担当者会議	5月13日～14日	渡辺理事出席

#### (3)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
成年後見人材育成研修(委託集合研修)	開催中止		
実務者研修	①9月2日 ②12月9日	①27名 ②26名	①新潟ユニゾンプラザ ②研究・研修センター長岡
ばあとなあ新潟全体会	7月29日	63名	新潟ユニゾンプラザ
初任者研修	①5月27日 ②11月12日	①16名 ②12名	新潟ユニゾンプラザ
地区研修(新潟)	①6月24日 ②9月22日 ③12月23日 ④2月16日	①23名 ②17名 ③23名 ④13名	新潟ユニゾンプラザ

地区研修(下越)	①7月16日 ②9月23日 ③12月16日 ④2月24日	①11名 ②11名 ③5名 ④6名	新発田市ボランティアセンター
地区研修(中越)	①6月25日 ②9月10日 ③12月23日 ④3月11日	①17名 ②25名 ③16名 ④21名	①長岡市さいわいプラザ ②特養はるか ③まちなかキャンパス・長岡 ④長岡市さいわいプラザ
地区研修(上越)	①6月24日 ②9月9日 ③12月2日 ④3月10日	①15名 ②21名 ③23名 ④18名	上越市市民プラザ
地区研修(魚沼)	①7月1日 ②9月9日 ③11月25日 ④2月14日	①7名 ②8名 ③7名 ④6名	①南魚沼市役所 ②サンクロス十日町 ③南魚沼市立図書館 ④小出ボランティアセンター
地区研修(佐渡)	①6月26日 ②9月27日 ③12月2日 ④12月18日	①8名 ②10名 ③12名 ④12名	特養新穂愛宕の園 金井コミュニティーセンター
成年後見関連専門職合同研修	①7月29日 ②2月9日	①84名 ②23名	新潟ユニゾンプラザ 新潟県司法書士会館

#### (4) その他活動 (※講師等派遣)

##### <研修講師派遣>

- ・新潟県社会福祉協議会「成年後見支援制度市町村申立推進研修会(基礎編)」竹田一光委員
- ・コロニーにいがた白岩の里「職員研修(成年後見制度の基礎知識)」6月22日 小林克太郎委員
- ・長岡福祉会「家族懇談会(成年後見制度)」7月22日 小林克太郎委員
- ・湯沢町社会福祉協議会「成年後見制度研修会」8月24日 片岡敏明委員
- ・新潟市社会福祉協議会「新潟市市民後見人養成研修」11月2日、11月30日小林克太郎委員、11月17日多田克美委員、11月30日渡辺信也理事、片岡敏明委員、山田一郎委員
- ・柏崎市社会福祉協議会「市民後見人養成講座」9月27日 渡辺信也理事
- ・佐渡市社会福祉協議会「平成29年度市民後見人フォローアップ研修」10月27日 池知子会員
- ・上越地域ソーシャルワーカー協議会「春季勉強会～成年後見制度に関すること～」3月予定桑原正史会員
- ・長岡市地域包括ケア推進協議会「多職種連携に向けた勉強会(成年後見制度の活用に向けて)」3月3日小林克太郎委員

##### <委員等派遣>

- ・新潟市社会福祉協議会「成年後見制度推進ネットワーク会議」林正海委員
- ・魚沼市社会福祉協議会「法人後見事業運営委員会」枝村英一会員
- ・南魚沼市社会福祉協議会「法人後見事業運営委員会」高野八千代委員
- ・刈羽村社会福祉協議会「法人後見運営委員会」渡辺信也理事
- ・新発田市社会福祉協議会「法人後見事業運営委員会」渡邊直子会員
- ・新潟市社会福祉協議会「新潟市成年後見支援センター運営委員会」梨本光枝監事
- ・新潟市社会福祉協議会「法人後見運営審査会」梨本光枝監事
- ・長岡市社会福祉協議会「成年後見事業運営委員会」小林克太郎委員
- ・新潟県社協「平成29年度成年後見制度推進連絡会議」竹前亮太郎委員、片岡敏明委員、山田一郎委員、渡辺信也理事、林正海委員、高野八千代委員
- ・村上市社会福祉協議会「法人後見運営委員会」渡邊豊委員
- ・高田西城病院 認知症疾患医療センター「認知症医療連携協議会」清水知美委員

##### <その他>

- ・三士会「成年後見制度利用促進基本計画への対応検討会」(星井会長、渡辺信也理事、林正海本部委員、山田一郎本部委員、竹田一光地区委員、今井正会員)1回目:8月8日、2回目:12月4日
- ・成年後見制度利用促進基本計画に関する勉強会(新潟県(高齢福祉保健課・障害福祉保健課)、県社協、三士会)1回目:10月18日、2回目:1月30日 星井会長、渡辺信也理事、事務局畠山が参加
- ・ばあとなあ関東甲信越ブロック連絡会 10月14日 (横浜市) 渡辺信也理事

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	高齢者虐待対応事業
担当部署等	事業活動部（虐待対応委員会）

#### ◆平成29年度の活動評価

新潟県からの受託事業である「高齢者権利擁護相談支援事業」として、新潟県弁護士会と連携して、県内市町村及び地域包括支援センターの実施する権利擁護業務の後方支援を行った。今年度は、電話相談の件数は増加、アセスメントシートによる相談対応は3件(例年の約半数)にとどまった。一方で、地域の関係機関からの高齢者虐待対応専門職チームに対する研修講師派遣依頼が多くあった。このことから、弁護士や「高齢者権利擁護相談支援事業」を主管する新潟県福祉保健部高齢福祉保健課の担当者とも協議し、次年度は、地域における事例検討会や研修企画への支援を盛り込み、市町村・地域包括支援センターにおける高齢者虐待及び権利擁護対応の確立、高齢者虐待防止対応の地域のネットワーク構築に向け、より一層の活用を働きかけていくこととする。

障害者虐待対応に関する活動については、まず第1に、平成29年度新潟県障害者虐待防止対策支援専門委員の推薦依頼が新潟県からあり、当会から2名の推薦を行った。しかしながら当会推薦の支援専門委員に対し、実際の派遣要請があった事案は1件のみであった。第2に新潟県弁護士会、新潟県精神保健福祉士協会と当会との合意に基づき、障害者虐待防止に関する三士会(弁護士・精神保健福祉士・社会福祉士)の意見交換会が発足した。新潟県高齢者権利擁護相談支援事業のスキームを障害者虐待防止に導入できないか等意見の交換を行っている。第3回意見交換会には新潟県障害福祉課からも出席いただいた。三士会の意見交換会は新年度も定期的に開催していく予定である。

#### (1)主たる活動

高齢者虐待対応に関する活動	市町村および地域包括支援センターにおける高齢者の権利擁護対応への後方支援（※新潟県弁護士会と当会による高齢者虐待対応専門職チームによる相談対応、「新潟県高齢者権利擁護相談支援事業」として実施）														
	①アセスメントシートによる相談	3	件												
<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">対応内訳</td> <td>●検討部会の開催</td><td>3</td><td>回</td></tr> <tr> <td>●チーム派遣</td><td>2</td><td>回</td></tr> <tr> <td>●来所相談</td><td>0</td><td>回</td></tr> <tr> <td>●電話での回答</td><td>1</td><td>回</td></tr> </table>			対応内訳	●検討部会の開催	3	回	●チーム派遣	2	回	●来所相談	0	回	●電話での回答	1	回
対応内訳	●検討部会の開催	3		回											
	●チーム派遣	2		回											
	●来所相談	0		回											
	●電話での回答	1	回												
②電話相談			9	件											
障害者虐待対応に関する活動			●新潟県障害者虐待防止支援専門委員の推薦(宮越亮、渡辺陽一) ●障害者虐待対応事業への専門職チーム形式の活用について新潟県へ申し入れ ●障がい者虐待防止に関する三士会(弁護士・精神保健福祉士・社会福祉士)の意見交換会(1回目:9月20日、2回目:11月29日、3回目:1月31日)												

#### (2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
運営委員会	5月15日、6月1日(※事例検討会作業部会) 8月17日、1月10日	事務局
高齢者虐待対応専門職チーム運営協議会	9月20日、3月16日	新潟県弁護士会館、新潟ユニゾンプラザ

(3)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
事例検討会 (新潟県高齢者権利擁護相談支援事業)	12月4日	市町村・地域包括支援センターの高齢者虐待対応担当者、専門職チーム員 65名	燕三条地場産業振興センター

(4)その他活動

<講師派遣>

- ・新発田市「高齢者虐待対応初任者研修」8月3日 高野朗委員
- ・新潟市地域包括支援センター西川「高齢者虐待防止研修」8月31日宮下美知子委員
- ・田上町民生・児童委員協議会「高齢者虐待防止研修」9月11日佐藤正枝委員
- ・十日町地域振興局「高齢者入所施設虐待予防研修会(高齢者虐待防止ネットワーク運営事業、高齢者虐待防止サポートー育成事業)」10月26日 五十嵐康広会員
- ・社会福祉法人十日町福社会「高齢者虐待防止・身体拘束禁止について」12月6日山田一郎委員
- ・秋葉区内地域包括支援センター「秋葉区内包括合同企画学習会」12月11日佐藤正枝委員
- ・湯沢町役場健康福祉部健康増進課「民生・児童委員協議会定例会」2月22日佐藤正枝委員
- ・十日町地域振興局「在宅療養高齢者における虐待防止研修会(高齢者虐待防止サポートー育成事業)」3月1日峯嶋直美会員
- ・三条地域振興局健康福祉環境部「高齢者虐待防止研修会」3月1日佐藤正枝委員

<日本社会福祉士会主催研修への参加派遣>

- ・「虐待対応専門職チーム」経験交流会9月16日安藤清彦委員、池内明委員

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	地域密着型サービス外部評価事業 福祉サービス第三者評価事業
担当部署等	事業活動部(外部評価機関「あいエイド新潟」)

### ◆平成29年度の活動評価

地域密着型サービス外部評価は、例年とほぼ同じく56件を実施した。評価調査員は経験豊富な調査員が多く、大きな問題もなく事業所の質の向上に留意した外部評価を実施することができた。全国的な課題もあるが、当該事業の評価基準等が更新されないため、より事業所にとって役に立つ外部評価手法について検討していきたい。  
福祉サービス第三者評価は16件を実施した。引き続き、事業所にとって効果的な第三者評価が実施できるように、評価手法の整備と調査員育成に努めていきたい。

また、第三者評価を実施している中で関わる事業所の職員が、自己の組織や福祉サービスへの理解、課題解決への意欲等を高く持っているケースに数多く遭遇している。その経験から、29年度は第三者評価基準を用いた「自己評価研修会」を実施して、事業所自ら質の向上に取り組む機会を創出した。30年度も継続的に実施していきたい。

#### (1)主たる活動

##### <地域密着型サービス外部評価実施>

認知症グループホーム評価実施 56件（※訪問調査は6月からスタート）

##### <福祉サービス第三者評価>

契約済み・実施中	高齢	こしじの里(デイサービス、ホームヘルプ、ユニット型特養)
	障害	
	保育所	ほたるこども園(認定こども園)
	社会的養護	聖母愛児園、新潟天使園
評価確定	高齢	みのりの丘中郷
	障害	セルブこぶし工房、みのわの里更生園
	保育所	枇杷島保育園、米山台保育園、剣野保育園
	社会的養護	新潟県若草寮、聖母乳児院、新潟学園、若竹寮

#### (2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
あいエイド新潟運営委員会	4月23日、6月29日、12月16日	事務局

#### (3)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
福祉サービス第三者評価基準を活用した自己評価研修会	6月29日	福祉施設、保育所の役職員、福祉サービス第三者評価者 91名	新潟ユニゾンプラザ
福祉サービス第三者評価基準を活用した自己評価研修(出前講座)	①9月19日、25日 ②12月1日 ③12月6日	①(福)魚沼地域福祉会 ②新潟県知的障害者福祉協会下越地区 ③特別養護老人ホーム白ふじの里	①なないろ ②新発田市生涯学習センター ③白ふじの里

地域密着型サービス外部評価調査員全体研修	7月15日	地域密着型サービス外部評価調査員 18名	新潟ユニゾンプラザ
----------------------	-------	----------------------	-----------

#### (4) その他活動

##### <研修等への参加派遣>

- ・第三者評価調査者連絡会 29年6月26日 田崎基理事
- ・社会的養護関係施設評価調査者継続研修 30年3月12～13日 田崎基理事、一ノ瀬里絵子理事

##### <講師等派遣>

- ・新潟県(国保・福祉指導課)「平成29年度新潟県福祉サービス第三者評価受審事業者説明会」29年8月2日、8月10日 田崎基理事、一ノ瀬里絵子理事
- ・新潟県(国保・福祉指導課)「平成29年度新潟県福祉サービス第三者評価受審事業者説明会」29年12月12日 田崎基理事、一ノ瀬里絵子理事
- ・福島県(福祉監査課)「平成29年度福島県福祉サービス第三者評価調査者継続研修及び向上研修」30年2月22日 田崎基理事
- ・長岡三古老人福祉会「認知症対応型サービス事業管理者研修」30年2月2日 田崎基理事

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	社会福祉士の専門性を高めるための事業(基礎研修、階層別研修等)
担当部署等	生涯研修センター

◆平成29年度の活動評価

生涯研修制度基礎課程の全課程を実施した。2017年度をもって基礎研修Ⅱ・ⅢのDVD講義が終了するため、可能な範囲で講師による講義に変更している。前年度同様、基礎研修Ⅱ・Ⅲについては、出席できない日がある受講者に対しては、他県(長野県、群馬県等)で振替受講ができるよう配慮した。数名の受講生が他県で受講し、また他県から受講生を受け入れるなど成果があった。  
また、基礎研修受講者を対象としたアンケート調査を12月に実施した。アンケート結果に基づき、可能な限り受講生の利便性に配慮し、2018年度基礎研修プログラムの日程や会場を一部変更している。

(1)主たる活動

下記(3)参照

(2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
生涯研修センター運営委員会	5月21日、1月14日	燕市老人集会センター、事務局

(3)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
基礎研修Ⅰ (集合研修2日間+課題レポート)	(集合研修) 8月26日 1月20日	社会福祉士 受講者 45名	燕市老人集会センター
基礎研修Ⅱ (集合研修9日間+課題レポート)	(集合研修) 5月21日、6月17日、7月15日、8月20日、9月16日、10月14日、11月19日、12月16日、1月20日	基礎研修Ⅰ修了者 受講者 31名	燕市老人集会センター、新潟ユニゾンプラザ
基礎研修Ⅲ (集合研修10日間+課題レポート)	(集合研修) 5月28日、6月24日、7月23日、8月26日、9月23日、10月21日、11月25日、12月23日、1月28日、2月24日	基礎研修Ⅱ修了者 受講者 18名	燕市老人集会センター、新潟ユニゾンプラザ

(4)その他活動

<日本社会福祉士会主催研修、会議への参加派遣>

- ・日本社会福祉士会「2017年度第1回生涯研修センター協議会」8月6日 事務局・畠山が参加
- ・日本社会福祉士会「2017年度第2回生涯研修センター協議会」2月3日 渡辺副会長が参加
- ・日本社会福祉士会「2017年度生涯研修委員会議」9月23日～24日 渡辺副会長が参加予定も、都合により欠席
- ・甲信越社会福祉士会連携会議(基礎研修における連携を主として)12月2日～3日(南魚沼市)会長、副会長、事務局が参加

<その他>

- ・基礎研修受講者を対象としたアンケート調査(12月に実施)

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(福祉的な支援を必要とする矯正施設の退所予定者の社会復帰の支援を行なう事業)
事業内容	地域生活定着促進
担当部署等	事業活動部(新潟県地域生活定着支援センター)

#### ◆平成29年度の活動評価

##### 『個々のケースへの支援力向上』

- ・相談員一人ひとりの強みを生かし、多角的な視点でケースを捉え、社会資源を活用しながら業務を実施した。
- ・個々のケースへの支援力を向上させるため、対象者協議会の内容の見直しを行い、様々な関係者の視点を活用できるような仕組みづくりをした。

##### 『ネットワーク構築』

- ・個々のケースを通して、関係機関とネットワークの構築を図った。特に司法分野と福祉分野の関係者をつなげることを意識的に実施した。
- ・新潟刑務所、新潟保護観察所との連携を深めるために特別調整実務者定例会議を主催し、円滑な業務遂行のための協議を実施した。また、弁護士や地方検察庁から協力を求められることがあり、入口支援の対応を行う機会が増えた。

##### 『広報活動・啓発活動』

- ・センターの事業の理解や受け入れ先の開拓のため、講師依頼だけではなく、センターの主催、共催での研修や勉強会を積極的に実施した。(具体的な内容はセンターの事業説明、事例検討、受け入れ施設からの事例報告など)

#### (1)事業・委員会の主となる活動

##### 1. コーディネート業務

本年度依頼受付件数 25 (2) (うち一般調整)  
(11) (県内帰住予定)

支援継続件数	保護観察所からの依頼	他県センターからの依頼	計 (うち一般調整)
	7	1	8 (2)

支援終了件数	矯正施設から退所し受入先に帰住	他センターへの依頼	その他(支援辞退など)	計 (うち一般調整)
	13	13	5	31 (3)

##### 2. フォローアップ業務(コーディネート実施後のフォローアップ)

支援継続中	終了件数
14	11

##### 3. 相談支援業務(矯正施設を退所した本人や関係者からの相談対応)

開設時からの継続件数	今年度開始	終了件数	支援継続中
29	29	58	0

#### (2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
対象者協議会	7月24日	新潟刑務所
連絡調整会議	4月24日、5月2日、6月22日、9月5日、12月7日 1月30日、3月23日	新潟刑務所
特別調整連絡協議会	2月16日	保護観察所
特別調整定例実務者会議	4月17日、10月25日	新潟刑務所

県との定例報告会	6月12日	新潟県庁
全国地域生活定着支援センター協議会総会	6月23日	航空会館
全定協関東ブロックセンター長会議	6月8日、8月28日、11月30日、3月26日	さいたま保護観察所

(3)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
巡回勉強会	6月29日 9月7日 10月18日 1月17日 2月13日		小千谷市 柏崎社協 三条地域振興局 東区自立支援協議会 長岡地域振興局

(4)その他活動

<研修参加>

- ・ソトセック勉強会(4/16、4/23、5/14)
- ・条件反射制御法実地研修(5/22～26)
- ・一般改善指導公開講座(6/7)
- ・新潟県相談支援専門員総会時研修(6/10)
- ・身寄りなし問題研修会(6/24)
- ・第6回共生社会を創る愛の基金シンポジウム(7/1)
- ・司法福祉・地域福祉の可能性(講師)(7/8)
- ・司法関係機関等視察研修(7/11)
- ・三庁合同事例検討会(7/25)
- ・ソトセック家族説明会(7/30)
- ・知的障害発達障害がある人のためのトラブルシューター研修(8/5)
- ・ソトセック研修(運営)
  - (8/20、9/3、9/17、10/1、10/15、10/29、11/12、11/26、12/10、12/24、1/7、1/21、2/4、2/18、3/4、3/18)
- ・身寄りがないという生き方を支援すること岩室地区地域保健福祉の情報交換会(9/15)
- ・司法福祉全国研究集会(9/30～10/1)
- ・新潟地域福祉実践研究会(司法福祉)(10/4)
- ・新潟刑務所研究事業(10/25)
- ・全日本自閉症支援者協会(11/1,11/2)
- ・新潟県相談支援専門員協会研修(11/4)
- ・新潟フォーラム(運営)(12/2～3)
- ・長野研修(12/5)
- ・全定協スキルアップ研修(12/14)
- ・関東甲信越ブロック研修(2/8～9)
- ・福祉専門官等管内ブロック研究会(2/1)
- ・薬物離脱研修(2/14)

<その他活動>

- ・社会を明るくする運動(講師)(5/7)
- ・中央区自立支援協議会(5/10)
- ・はばたきネット会議(5/29、8/28、2/26)
- ・検察庁関係社会福祉士交流会(6/3)
- ・新潟市住居支援連絡会(6/26)
- ・関東ブロック研修委員会(6/30)
- ・松鴻の園内部研修(講師)(7/21)
- ・吉田福祉会内部研修(講師)(8/16)
- ・さざなみ学園児童向け研修(講師)(8/24)
- ・佐渡園域刑務所視察研修(調整)(9/15)
- ・リーガルソーシャルワーク研修ワーキングチーム(9/21、10/16)
- ・県知的障害福祉協会(講師)(10/16)
- ・保護司特別研修(講師)(10/31、2/14)
- ・社会福祉士会受託地域生活定着支援センター研究協議会(10/26～27)
- ・新潟青陵大学(講師)(11/30,2/1)
- ・やひこの里内部研修(講師)(2/6)
- ・三士会合同研修(パネリスト)(3/6)
- ・新潟県薬物依存症フォーラム(パネリスト)(3/21)

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	社会福祉に関する知識・技術の普及・啓発事業／社会福祉士の専門性を高めるための事業
担当部署等	企画部(法人研修班)

◆平成29年度の活動評価

1. 総会時全体研修では、星井会長・渡辺副会長から社会福祉士の倫理についての講義を実施した。相談援助スキルアップセミナーは、会員参加型の研修を行い、参加者からは好評をいただいた。
2. 新潟県医療ソーシャルワーカー協会、新潟県精神保健福祉士協会との共催事業について  
 ①「ソーシャルワーカーデーinにいがた」は、過去最高の参加者数となり、社会福祉士養成校に通う学生の他、社会福祉に興味関心を持つ学生にとって有意義なイベントとして定着している。しかしながら、現任者(会員・非会員問わず)の参加数が少なく、30年度の課題である。  
 ②3月に実施した合同研修は、テーマ・内容ともに地域ニーズに合致し大変多くの方からご参加いただいた。実践報告は各団体の特性と共通項とが表れた内容であり、相互理解を深めることができた。定員の関係で参加をお断りした方も多数おり、6月に再度実施予定である。
3. 福祉関係者のための成年後見活用講座(入門編・ステップアップ編)は、例年同様参加率の高い研修であり、非会員(各事業者の相談員・行政)の参加者数も多い。
4. 20代・30代のしゃべり場！は、12月に「Sea Point NIIGATA」、3月はスターバックスで行うなど、若い方が参加しやすいよう会場を工夫したり、非会員や学生とのコラボを行った。参加者からは、また参加したいなどと好評をいただいた。
5. 会員交流会は、初参加の会員や飛び込み参加もあり、他分野の会員との交流のきっかけとなり、ネットワーク形成の一助となれた。

(1)主たる活動

下記(3)参照

(2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
法人研修班運営委員会	4月29日(スカイプ)、8月28日、9月27日、11月22日	スカイプ、事務局他
ソーシャルワーカーデー企画会議 (MSW協会、PSW協会合同)	4月16日、6月24日、8月19日、11月25日、2月17日	事務局

(3)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
全体研修「ソーシャルワーカーのプライド～わたしたちの倫理とは～」 (講師:星井会長、渡辺副会長)	6月11日	会員、福祉関係者等 会員 64名、非会員 6名	燕三条地場産業振興センター
ソーシャルワーカーデーinにいがた2017	7月8日	学生、現役ソーシャルワーカー、一般県民 等 参加者 220名(SW59名、学生111名、その他50名)	新潟ユニゾンプラザ
福祉関係者のための成年後見活用講座 (入門編)	【新潟】5月23日 【県央】5月31日	【新潟】 60名 【県央】 38名	新潟ユニゾンプラザ 燕三条地場産業振興センター
福祉関係者のための成年後見活用講座 (ステップアップ編)	【新潟】10月4日 【県央】10月30日	【新潟】 43名 【長岡】 36名	新潟ユニゾンプラザ 燕三条地場産業振興センター
相談援助スキルアップセミナー	11月22日	124名	燕三条地場産業振興センター
真剣20代・30代しゃべり場！	12月10日 3月10日	14名 11名	Sea Point NIIGATA スターバックスコーヒー新潟南店
ソーシャルワーカー3団体合同研修「身寄りがないなど生活に困難を抱える方への支援～司法との接点から考える～」	3月6日(午前・午後の2回実施)	医療・保健・福祉関係者、行政職員、弁護士等 167名	新潟ユニゾンプラザ

(4)その他活動

・会員交流会開催(6月11日、7月8日)

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	社会福祉に関する知識・技術の普及・啓発事業 社会福祉士の専門性を高めるための事業
担当部署等	企画部(災害支援班)

#### ◆平成29年度の活動評価

平成29年度は、新潟県と新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会との協定が締結されたことに基づき、新潟県社会福祉士会災害対応ガイドライン・マニュアルの制定を行った。平成30年春には新潟県の防災計画も更新される為、その内容に合わせて災害対応ガイドライン等の見直し、更新作業を行い、県内の行政・各職能団体や新潟県近隣の都道府県社会福祉士会との連携を図りつつ、より実践的なガイドライン・マニュアルの作成を行っていく予定である。

また、社会福祉士が行う災害被災地での支援活動の基本を学び、災害発生時の福祉ニーズに迅速に対応できるソーシャルワーカーを養成する事を目的とした災害支援活動者養成研修(認定社会福祉士認証)を初めて開催した。研修内容に関しては、比較的満足度の高い内容となっていたが、参加者数が想定より少ない人数での実施となつた。平成30年度は、研修カリキュラムの見直しを行うことで、参加者数の増加を目指し、有事の際に効率的かつ効果的に災害支援活動が行える体制構築を行っていく。

#### (1)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
運営委員会	11月26日、1月20日	事務局

#### (2)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
災害支援ソーシャルワーク研修(※認定社会福祉士の研修単位認証研修)	2018年2月10日～11日	8名	新潟ユニゾンプラザ

#### (3)その他活動

<日本社会福祉士会関係の研修、会議への参加派遣>

- ・関東甲信越ブロック社会福祉士会災害連携会議 4月29日 新潟ユニゾンプラザ
- ・関東甲信越ブロック社会福祉士会災害連携会議 11月23日 神奈川県社会福祉会館 立川和彦理事参加

<その他>

- ・新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会への参加(担当:立川和彦理事)

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	社会福祉に関する知識・技術の普及・啓発事業／社会福祉士の専門性を高めるための事業
担当部署等	会員活動部(高齢者支援班)

#### ◆平成29年度の活動評価

- 認証を受けた「ネットワーク実践力養成研修」を開催した。受講者は少なかったがアンケート結果からも有意義な研修であったことが伺える。受講者の理解が深まるよう、講師側の準備・振り返りを十分行なう必要がある。PRを工夫し、30年度は生活支援コーディネーターや高齢者分野以外の方にももっと参加してもらえるようにしたい。
- 全体研修については、ここ数年「地域包括ケアシステム」をキーワードに実施している。食傷気味か？参加者は少ない印象(特に会員)であった。「総合事業」にテーマをしづらり、受講者からも「理解が深まった」との声が多くきかれた。30年度はテーマを改めて検討し、高齢者支援班ならではの企画ができるとよいと考える。
- 地区勉強会についてはおおよそ例年通り、各地区1回以上実施したが参加者の伸び悩みがある。開催することが目的にならないよう、委員会の中で目的を押さえ、地区毎の他企画とのコラボレーションなども考えていく。

#### (1)主たる活動

下記(3)参照

#### (2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
高齢者支援班運営委員会	12月9日	事務局
ネットワーク実践力養成研修班作業部会	5月14日、7月22日、1月6日	事務局
全体研修班作業部会	5月19日	事務局

#### (3)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
全体研修会「地域包括ケアの中の総合事業について～地域力・住民力で安心まちづくり～」	6月5日	会員、福祉関係者等 65名	新潟ユニゾンプラザ
地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修	8月22日、23日、12月12日	福祉関係者 14名	新潟ユニゾンプラザ
各地区での勉強会 (※3月6日の新潟地区研修は、「ソーシャルワーカー3団体合同研修」として実施)	【下越】10月28日 2月17日 【佐渡】11月23日 【魚沼】1月27日 【中越】2月17日 【上越】3月3日 【新潟】3月6日	【下越】14名 15名 【佐渡】13名 【魚沼】16名 【中越】15名 【上越】23名 【新潟】167名	新発田市ボランティアセンター 新穂愛宕の園式号館 南魚沼市ふれ愛支援センター サクラーレ福住 上越市福祉交流プラザ 新潟ユニゾンプラザ

#### (4)その他活動

##### 《講師等推薦》

- ・糸魚川地域振興局「高齢者虐待防止研修会」 11月10日 荒井琴美委員
- ・社会福祉法人人と緑の大地 高齢者福祉施設すずらんの園「人権擁護研修会」 2月23日 松木万里央委員

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	社会福祉に関する知識・技術の普及・啓発事業／社会福祉士の専門性を高めるための事業
担当部署等	会員活動部(障害者支援班)

◆平成29年度の活動評価

平成29年度の障害者支援班としての活動は、平成28年度に委員を派遣した日本社会福祉士会の「障がい者の地域生活支援研修」をもとに、運営委員にオブザーバーを加えた検討部会により専門研修の組み立てを行った。専門研修プログラムの検討を重点的に行うため、独自研修は開催しなかった。

検討部会では、障害者支援に携わるソーシャルワーカーの基盤となるような研修プログラムの具体的検討を行い、個別のケースへの支援から、地域の課題をとらえ地域変革へつなげていける支援者を育成するための研修プログラムを作成した。平成30年4月に認定社会福祉士の研修単位の認証申請を行う予定である(研修の実施は平成30年10月以降)。

(1)主たる活動

下記(3)参照

(2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
障害者支援班運営委員会	8月10日、9月16日、10月14日、12月15日	事務局

(3)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
※今年度は実施なし			

(4)その他活動

<講師等派遣>

<研修等参加派遣>

・新潟県弁護士会、新潟県精神保健福祉士協会、当会による「障害者虐待対応に関する意見交換会」への委員参加(上野委員、萩野委員／虐待対応委員とともに参加)

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	社会福祉に関する知識・技術の普及・啓発事業／社会福祉士の専門性を高めるための事業
担当部署等	会員活動部(生活・更生保護、児童・家庭支援班)

#### ◆平成29年度の活動評価

平成29年度は、前年度に引き続き他分野の活動実践からの学びと連携をテーマに、研修を中心においた活動を実施した。生活支援班は、多分野の会員が所属しており、班員相互の意見交換の場や班の活動への希望などを話し合える場として勉強会を実施したが、全体的に研修会が集中している時期でもあり参加者が少なく、目的達成とまでは言えなかった。地域共生をテーマとした研修会は、多分野からの実践がそれぞれの現場で繋がっていくための学びとなり、参加者からはおおむね好評だった。研修の開催については、土日開催、平日開催と両方実施してみたが、職場から研修として参加して職場に還元する場合も多くあるようだった。

また、司法福祉に関する研修のプログラム検討のため、年度後半からワーキングチームを別に立ち上げた。地域定着支援センターを中心に、弁護士や大学教授の参加も得てプログラム検討を行い、「福祉ニーズのある人が加害者・被害者になった場合、地域の支援者はどのように司法とつながり支援を展開するか」を学べるよう研修プログラムを作成した(平成30年4月、認定社会福祉士認証・認定機構へ研修認証申請を行う予定)。

#### (1)主な活動内容

下記(3)参照

#### (2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
生活支援班運営委員会	4月9日、9月25日、11月29日	事務局
司法福祉研修ワーキングチーム会議	9月21日、10月16日、12月4日、1月24日	事務局

#### (3)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
勉強会(今こそ、ソーシャルワークを語ろう)	【新潟】7月1日 【県央】7月9日	【新潟】8名 【県央】4名	新潟ユニゾンプラザ 燕三条地場産業センター
研修会「地域共生～地域とともにいきる～」	1月19日	47名(会員27名、非会員17名、学生3名)	新潟ユニゾンプラザ

#### (4)その他活動

##### <研修等への参加派遣>

- ・日本社会福祉士会「司法福祉全国実践研究集会」9月30日～10月1日 高橋友規会員(地域生活定着支援センター)
- ・日本社会福祉士会「自殺予防ソーシャルワーク研修」1月13日～14日 一ノ瀬里絵子理事

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	社会福祉に関する知識・技術の普及・啓発事業／社会福祉士の専門性を高めるための事業
担当部署等	会員活動部(人材育成・スーパービジョン支援班)

◆平成29年度の活動評価

平成29年度は、社会福祉士実習指導者講習は休止年度であったため、社会福祉士実習指導者フォローアップ研修のみを8月に実施した。また、スーパービジョン支援として、スーパービジョン実施希望者とスーパーバイザーとのマッチング支援を行った。社会福祉士実習指導者講習の毎年度開催の要望やスーパービジョンのマッチング支援の要望については、一定件数問い合わせや相談をいただく状況で、平成30年度中に毎年度の定期開催やスーパービジョンマッチング支援についての在り方(広報・啓発活動を含む)を検討、実施していきたい。

(1)主たる活動

下記(3)参照

(2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
人材育成・SV班運営委員会	8月10日(実習指導者フォローアップ研修時)	燕三条地場産業振興センター

(3)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
社会福祉士実習指導者フォローアップ研修	8月10日	会員 24名 非会員 16名	燕三条地場産業振興センター

(4)その他活動

<スーパービジョン支援>

・コーディネート支援 3件

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	福祉社会を担う人材を養成する事業(国家試験対策講座、統一模擬試験)
担当委員会等	事務局 (各養成校担当教員と連携)

#### ◆平成29年度の活動評価

社会福祉士の育成を支援する事業として「社会福祉士国家試験対策講座」および「社会福祉士全国統一模擬試験」を実施した。

①「社会福祉士国家試験対策講座」の受講者および模擬試験受験者は、73名で、目標の60名を上回った。またアンケート結果から各科目の時間配分、日数、開催時期については「良い」との評価であった。講義内容についてもほぼ全科目にわたり「参考になった」との評価であった。アンケート結果については講師にも開示し、次年度の講座に反映させたい。

②「社会福祉士全国統一模擬試験」は、目標の300名を上回る313名の参加を得た。。

#### (1)事業・委員会の主となる活動

下記(3)参照

#### (2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
全国統一模擬試験打ち合わせ	模擬試験実施要領を試験監督者に送付し、役割について確認してもらう(会議開催せず)	

#### (3)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	開催場所	参加対象・人数
第30回社会福祉士国家試験受験対策講座	講義5日間 (7月29日、8月20日、9月17日、10月15日、11月4日) 模擬試験(11月18日)	新潟ユニゾンプラザ	社会福祉士国家試験受験予定者 講義73名、摸試73名
第30回社会福祉士全国統一模擬試験	10月22日	新潟ユニゾンプラザ	社会福祉士国家試験受験予定者 313名

公益法人会計上の事業区分	その他事業
事業内容	調査研究事業
担当部署等	広報部

◆平成29年度の活動評価

実践報告集は平成30年8月に第17号が発刊できる予定。しかし原稿依頼や進捗確認にスカイプを導入したが思うように進行せず、来年度はまた会議や委員会の運営についても検討を続けていきたい。事務局便りは最新の情報を会員に届けられたと思われ、来年度も継続していく。

①社会福祉士実践報告集発行

「新潟社会福祉士第16号」の発刊(平成29年8月発刊)

「新潟社会福祉士第17号」(平成30年8月発刊予定)の企画・編集作業

②事務局だよりの発行

第1号:4月1日、第2号:5月22日、第3号:6月23日、第4号:8月20日、第5号:10月16日、第6号:12月10日、  
第7号:1月25日、第8号:3月1日

(2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
広報委員会	6月3日、7月15日、8月19日(スカイプ)、9月16日、10月21日(スカイプ)	事務局

公益法人会計上の事業区分	その他事業
事業内容	日本社会福祉士会への支援・連携

◆平成29年度の活動評価

日本社会福祉士会からの要請に応じて各委員会や会議に委員を派遣するとともに、業務委託をうけた基礎研修を実施するなど連携強化に努めた。

(1)通年の活動(事業・委員会の主となる活動)

- ① 委員会委員の派遣
  - ・地域包括ケア推進委員会 高橋是司会員、佐藤正枝会員
  - ・生涯研修センター企画・運営委員会 高野八千代会員
- ② 権利擁護に関する業務支援
  - ・ばあとなあ概況調査協力
- ③ 研修業務の受託
  - ・基礎研修Ⅰ～Ⅲ
- ④その他
  - ・社会福祉マネジメント研修(11月9日～12日)の広報協力